

議 事 録

件 名： 第 4 回 廃棄物受入に関する検討委員会
日 時： 平成 26 年 12 月 19 日（金）10:00～11:30
場 所： 大阪湾広域臨海環境整備センター会議室

【概要】

- 第 3 回検討委員会議事録の内容確認
- 議題ごとに事務局が説明の後、質疑応答
 - 議題 再発防止対策の取組状況について
 - 議題 課題検討の報告について
 - 議題 委員会提言について
 - 議題 その他

【議事内容】

- 第 3 回検討委員会議事録の内容確認、了承

- 議題 再発防止対策の取組状況について

抜取検査、自主検査、立入調査の結果報告及び搬入停止処分となった 5 排出事業者の超過原因と今後の再発防止対策を説明、意見交換

（委員）原因は、堆積物、清掃物、対策は、清掃頻度を向上、管理徹底であり、これらに気を付ければ高濃度にならないということがフェニックスのまとめで分かった。これを監督官庁へきちんと伝えていくのが大事。監督官庁も指導のポイントが分かるのではないか。

→（事務局）フェニックス事業の一員である排出者、監督官庁などと情報共有して基準超過を無くしたい。

- 議題 課題検討の報告について

生物検定と公定法の結果比較による有効性の実証実験結果、廃棄物受入に関する検査体系案、通年の検査実施のイメージなどを説明、意見交換

（委員）生物検定をどう活用するかについては、センター、排出者、監督官庁でよく議論してもらいたい。

- 議題 委員会提言について

提言内容を説明するとともに資料構成（委員会で決定する提言と、これまでの委員会での議論や、今後、センターとして進めなければならない内容などをまとめたもので委員会での決定事項ではない参考資料で構成）を説明し、了承された。

（委員）これまで委員とオブザーバーを交え密度の濃い検討ができた。フェニックス事業が廃棄物処理と土地利用を計画する特別で重要な事業であると再認識した。この提言を骨子に具体化を検討して来年度からは組み込んで事業を進めてもらいたい。関係者だけでなく地元住民なども含めてよりよく理解してもらおうべきで、フェニックスが広報を行うことが大切。

○議題 その他

(オブザーバー) 提言どおり港湾機能の点も踏まえてしっかりスタートを切ってもらいたい。基準超過が無いかのしっかりしたチェックも必要だが、改善確認では、改善内容が事業者の手順書に記載されているかなど細かい点検もお願いしたい。

(オブザーバー) 委員会に出席し、排出事業者の責任の重要性を改めて認識した。フェニックス事業には、多くの排出事業者が参画しており、今回出席されていない排出事業者についてもフェニックス事業を進めるうえで大きな責任を担っていることを認識してもらうことが大事。事務局にはそのあたりについても検討していただきたい。